

Refeyn Webセミナーのご案内

Mass photometry法は1分子観察をベースとした、新しい分子量分布の測定技術です。

完全溶液系の計測方法でサンプルの標識や固定化が不要、緩衝液の制限もほとんどありません。一般的な計測時間は約2分間、短時間で溶液中の分子量分布が取得可能です。

誰もが簡単に、短時間で、さらにごく微量のサンプルで溶液中の分子量分布が取得可能です。つまり、これまでのSDS-PAGE、SECクロマトグラフィー、DLS等で得られるデータが、わずか2分で取得可能になります。

また、分子量分布の解像度の高さから、溶液中での複合体形成の様子や相互作用解析への応用が期待されています。

本セミナーではこの新しい測定装置の「Refeyn」について、装置の概要とともに、最新の測定データを交え、その活用方法についてご紹介いたします。



日時

2023年1月11日 13:30～（約1.5時間）

セミナータイトル

**「Mass photometry法分子量分布測定装置
Refeynシリーズのご紹介」**

申し込み

以下のリンクないしはQRコードよりご参加ください

<https://forms.gle/4NH6A9buCkgMa6b8>



【製品に関するお問合せ】

REFEYN
WEIGHING MOLECULES WITH LIGHT

レフェイン・ジャパン株式会社

657-0036 神戸市灘区桜口町1-1-14

<https://www.refeyn.com/>

担当：近 masato.kon@refeyn.com

【本セミナーに関するお問合せ】

公益財団法人鳥取県産業振興機構
バイオフィロンティア推進室 担当：森山
〒683-8503 鳥取県米子市西町86番地
（鳥取大学米子キャンパス内）

TEL 0859-37-5131/FAX 0859-37-5132

HP：<http://www.bio-frontier.jp/>

E-mail：tb@toriton.or.jp

2022年4月、Refeyn Japanが発足しました

2018年にスタートしましたRefeyn Ltd.は、2022年4月に、日本市場において更なる事業展開とサポート強化のため、これまで事業協業をおこなっていたライフサイエンスソリューションズ株式会社から事業譲渡を受け、2022年4月、我々は**レフェイン・ジャパン株式会社**を設立いたしました。

セールスおよびテクニカルサポートの専任者を設置し、mass photometry法ならびにRefeynシリーズの各製品の日本市場への更なる展開を行いたいと思います。今後も変わらずのご愛顧いただきますよう、お願い申し上げます。

Mass Photometry法を搭載した 分解能の高い分子量分布

1 nMを切る濃度での検出

- SECのマイナーフラクション（数mAU程度）の濃度でも検出できる高感度
- 微量のコンストラクション評価に最適
- 分子形状に依存しない解析結果

超シンプルなおペレーション

- 完全溶液系のバッチ式
- 完全非接触
- サンプル投入から結果算出まで2分間

豊富なアプリケーション

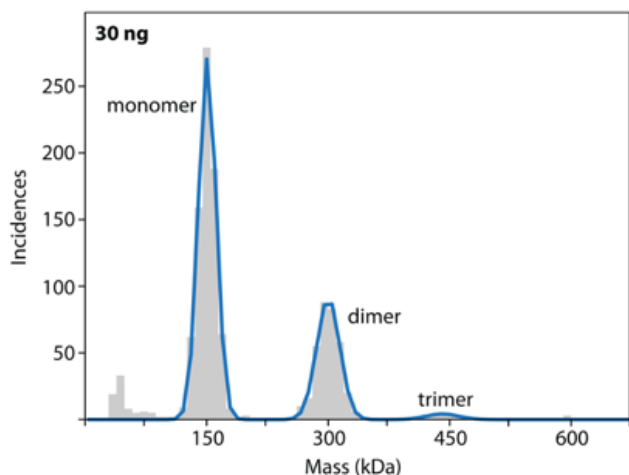
- タンパク質など高分子の複合体形成評価
- アデノ随伴ウイルス（AAV）のFull/Empty比率
- プラスミドDNA、Aptomerなど核酸化合物の分布
- 相互作用解析（抗原-抗体反応など）
など多数



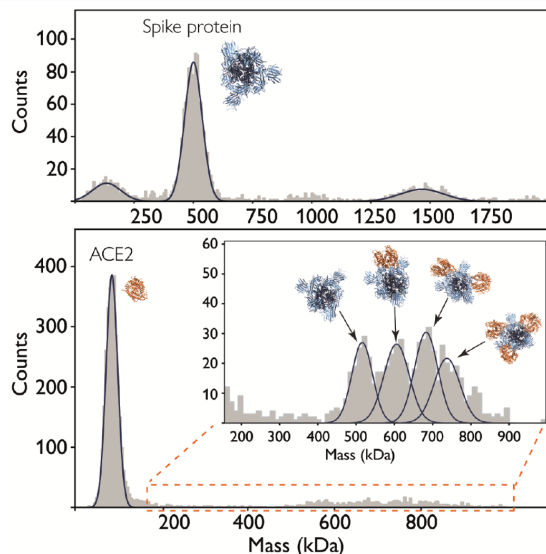
マイクロピペットでガラスプレートに置くだけ



Mass Photometryを用いたアプリケーション事例



MP法による治療用モノクローナル抗体の分子量分布



新型コロナウイルス（SARS-CoV2）スパイク蛋白質の分子量分布（上）と、ACE2との相互作用による複合体の分布（下）